

来春オープンの新館が竣工

新津山洋学資料館竣工式

5月30日 新津山洋学資料館（西新町）

5月30日、新津山洋学資料館内の「GENPOホール」で関係者約40人を招いて竣工式を行いました。

新館は四角形や五角形の建物の集合体で、外壁は明治期の洋館をイメージさせる板張りやレンガになっています。常設展示室や企画展示室、復元された江戸期の診療室、図書室などがあり、箕作家・宇田川家を中心とした資料展示や津山洋学の情報発信ができるものとなっています。来年3月の開館までに、館内の乾燥や燻蒸、旧館から収蔵品の搬入、展示作業などを実施していきます。11月には無料の内見会も予定していますので、楽しみにお待ちください。

津山初のJリーグ戦に熱い声援

津山市制施行80周年記念マッチ ファジアーノ岡山公式戦

5月30日 津山陸上競技場



岡山県を本拠地としてJリーグ2部で活動中のサッカークラブチーム・ファジアーノ岡山。

この日の試合は、市制施行80周年を記念し津山で初めてのJリーグ公式戦。湘南ベルマーレとの好ゲームにサッカーファンや家族連れなどが手拍子やタオル振り、声援など熱気のある応援を行いました。試合は0-1で敗れましたが、3,348人の来場者は試合が終わった後も興奮冷めやらぬ様子でした。



素朴で気品のある作品ずらり

登り窯の窯出し

6月7日 勝北陶芸の里工房（杉宮）

6月7日、勝北陶芸の里工房で登り窯の窯出しがありました。工房を訪れた人が作成した茶碗、皿、壺や花器、個性的な置物など約1,000点の作品がずらりと並びました。

5月20日の火入れから12日間、指導者の花岡勉さんと陶芸愛好会「雄杉会」の会員が昼夜を徹しての窯焚きを行いました。

最高温度が約1,200度となった窯の炎と土が融合してできた作品は、窯の位置によって作品の表情が異なります。どれも素朴な中に気品のあるものができ上がりました。

次回の登り窯の窯焚きは、10月の予定です。



みんなで河川美化、収集ごみ22t

第37回河川一斉清掃

6月7日 吉井川・宮川・藺田川

毎年恒例の河川一斉清掃に吉井川・宮川・藺田川の流域の46町内会の市民を始め、県や市のボランティアなど約3,500人が参加しました。

急勾配の場所では、はしごやロープを掛けて作業する姿、川底がコンクリートの場所では、たまった土砂をあげる姿、吉井川南岸では作陽高校のサッカー部員の作業する姿が見受けられました。

参加した皆さんのご協力で見違えるようにきれいになりました。お疲れさまでした。

今月のフラッシュ+

地球のために“今できることを”再認識

市制施行80周年記念事業・市地球温暖化対策地域推進計画キックオフイベント「地球環境セミナー」

5月31日 ベルフォーレ津山



約550人の参加者が改めて考えた地球環境。「津山市地球温暖化対策地域推進計画」の説明や基調講演、パネルディスカッション、環境劇で分かりやすく参加者に訴えました。

パネルディスカッションでは、津山市の市政アドバイザーでシンガーソングライターのイルカさんが、未来の子どもたちに美しい自然や安全な食物を残していくために、身近なことから、できることから始めようと呼び掛けました。

小学1年の子どもと参加した大住美樹さん（上田邑）は「意識を変えて行動していかないといけないなと実感しました」と感想を語ってくれました。

